

出願書類作成時の AI（人工知能）の活用に関するお知らせ

ChatGPT 等の様々な生成 AI の普及により、文章作成の利便性が飛躍的に向上していますが、大学・大学院等の教育機関へ提出する出願書類（課題エッセイ、推薦状、志望動機書等）において、AI を使用した文書は、原則として「不正行為」とみなされます。 将来のキャリアを左右する重要な出願プロセスにおいて、不利益を被ることのないよう以下の事項を必ずご確認ください。

● Academic Integrity（学問的誠実性）

海外大学・大学院では、AIによって生成加工された文章を提出することを、“Plagiarism”（剽窃（ひょうせつ）行為）と同等の「不正行為」として厳格に扱います。AIの使用が疑われた場合、審査の中止、不合格、さらには入学後の合格取り消し、といった措置が講じられるリスクがあります。

● AI 検知システムによる厳密な審査

各大学では高度な AI 検知ツールを導入しており人間が書いた文章か AI が介在した文章かを高精度で判断しています。ご自身で作成した原稿であっても、AI に洗練された表現への修正を依頼した時点で、検知フラグが立ち不正を疑われる可能性が高くなります。

● AI 生成等が疑われる原稿の「差し戻し」措置について

BEO カレッジが提供する英文添削サービスは、英語教授資格取得者、英語教授関連修士・博士号取得のプロの講師陣によって行われています。機械的な文章生成とは本質的に異なった、出願者自身の言葉や個人経験、独自の視点を尊重しアドバイスをを行っています。よって出願の健全性を守り、不正加担を防止するため、以下のルールを設けております。

- **原則として差し戻し：** 弊社に依頼された原稿が「生成 AI によって作成されたもの」、また「AI によって大幅に編集されたもの」と担当講師陣により判断された場合、原則として添削を行わずお客様へ原稿を差し戻しさせていただきます。
- **再提出の依頼：** 差し戻しの際は、改めてご自身の言葉で執筆された原稿の再提出をお願いすることとなる為、その後の出願に遅れが生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

● 英文添削サービスの免責事項

添削後の出願書類は、志願者ご本人の公的書類であり提出に関する責任は志願者本人に帰属します。

万が一、お客様自身による AI の使用、あるいはその他の起因により提出大学から「剽窃」や「不適切な引用」との判断が下され、合否に影響や不利益が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。添削サービスの利用如何に関わらず、最終的な提出内容の正当性についてはお客様ご自身の責任において管理いただくようお願い申し上げます。